様式２

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名　　鳥取県立米子高等学校

重点項目	アクティブ・ラーニング推進	提出日	令和４年４月２５日

１　学校目標

○確かな学力の育成	・学力の向上　・思考力、判断力、表現力の更なる向上
○豊かな人間性の育成	・基本的生活習慣の定着　・生徒の主体的活動の推進　・支援が必要な生徒への援助
○自己実現のための進路指導の充実	・キャリア教育の発展　・進路指導の充実
○地域との連携による学校づくり	・地域のニーズに応じた地域貢献　・積極的な社会参画と情報発信

２　重点項目に係る目標・成果

目標	成果
①組織的、計画的にアクティブ・ラーニングで授業改善を推進する ②系列の特色化と資格取得を促進する ③SDGｓの視点を導入し、探究学習を進化させ課題解決能力を高める ④ＩＣＴ機器利活用の推進（活用する教員の推進） ＜数値目標＞ ①-1 各教科一人以上アクティブ・ラーニングを主題とした校内授業研究会開催 ①-2 大学合格者数　２０名（内国公立大５名） ②-1 資格取得（ビジネス文書実務検定１級・秘書技能検定２級・簿記実務検定２級・保育技術検定１級）は合格率７０％以上 ②-2 実用英語技能検定２級の受験を促進し合格者を増やす ③教員の ICT 機器活用率　８５％	＜数値結果＞ ①-1　各教科で実施(100%) ①-2 １９名（５名） ②-1　ビジネス文書 2/2(100%) 秘書 1/2(50%)　簿記 1/9(11%) 保育 5/8(63%) ﾌﾗﾜｰ装飾技能検定 3/4(75%) 全体　12/25(48%) ②-2 合格者１名 ③　１００％

３　実施事業

【高等学校課事業】

■外部人材活用事業

・社会人講師活用事業→専門家による教科指導を行い、生徒の学習意欲の向上と職業観、勤労観の育成

■新しい学びの創造事業

・生徒の思考力・判断力・表現力の強化のためのハイレベル講座

【独自事業】

○系列事業	・英語多読指導　・家庭・福祉（施設等実習）・野外活動（ｺﾞﾙﾌ・ｶﾇｰ・乗馬・（ｽｷｰ中止））
○産社・探究	・探究学習の充実　・産業社会と人間　・学習成果発表会（米子ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝｾﾝﾀｰで実施）
○指導力向上	・教員研修　・先進校訪問　・ルーブリック評価導入実践
○進路指導充実	・マナー講習会　・看護の職場体験（中止）　・進路指導資料の充実・進路講演会
○手話交流	・特別支援学校交流（手話ボランティア参加）リモート交流実施
○国際交流	・セント・トーマス・アクワイナス高校交流・韓国造形芸術高校交流 （ともに学校紹介ビデオ送付などリモート）
○中高連携	・アクティブ・ラーニング中学校出前講座（コロナ対策で中止）

４　総合所見（成果・評価）

・コロナ禍で、リモートで開催する事業が多かったが、Google Classroom の活用を推進することができた。また、分散登校時などリモート授業で生徒の自宅学習に対応できた。

・公開授業研究会はリモートで指導助言をいただき、新たな取り組みで実施できた。

・Find アクティブラーナーの活用の更なる推進が必要である。

・大学合格者は、早い段階からの指導によりほぼ目標を達成した。

※枚数任意